

私のすすめるこの1冊

中俣 尚己（国文学科 准教授）

『「あ」は「い」より大きい！？ 音象徴で学ぶ音声学入門』

川原繁人（著）

不思議なタイトルの本です。「あ」は「い」より大きいというのは、一体何が大きいということなのでしょう。ぱっと思いつくのは、前から見た時の口の開き具合です。これは確かに「あ」のほうが大きいです。しかし、本書で扱っている内容はそれだけではありません。

例えば、漫画で「ガッハッハ」という笑い声と「キッヒッヒ」という声があったとします。どちらが大きい声でしょう？答えは母音「あ」を使った「ガッハッハ」です。ここで重要なのは、みなさんは今この文書を視覚を通して読んでいるわけで、音声的な情報は一切耳にしていません。にもかかわらず、私たちは母音「あ」を大きいと感じてしまうのです。

このことは一見当たり前のようですが、そうではありません。実は言語には「恣意性」という性質があって、「意味」と「音声」にはつながりがありません。秋の味覚として有名な赤い果物を日本語では「リンゴ」と呼びますが、この音のパターンでなければならない理由は存在しません。その証拠に、英語では「アップル」と呼び、フランス語では「ポム」と呼び、韓国語では「サグゥ」と呼びます。音と意味は関係がないというのは言語学の常識です。

しかしながら、「意味」とは関係のない部分で「音」が一定のイメージを持っていることが観察できることがあり、これを音象徴と呼びます。例えばそれは

笑い声だったり、固有名詞だったりします。本書では秋葉原で働くメイドカフェ店員の名前、おむつの商品名、ポケモンの名前など非常にユニークな視点から「日本語の音」の研究を進めていきます。

このように非常に身近な題材から音声学や言語学の問題に取り組んでいるのが本書の第一の特徴ですが、第二の特徴は様々な科学的・統計的方法を使って、何がイメージの違いを生んでいるのかを徹底的に明らかにしている点です。例えば「あ」は「い」より大きいというのは口の形から直接的にわかるのですが、本書では「い・え」は「う・お」より小さいという主張も出てきます。このことは、口の形や舌の位置をモデル化し、振動の周波数を計算することで導き出されます。本書ではこれをきちんと数式を使って導いていきます。ただし、周波数の計算なんか知らないよという人のためにも、非常に丁寧にステップを踏んで説明が行われます。ポケモンの大きさの比較でも対数を利用することの重要性が簡単な計算方法とともに説かれます。

私たちはともすれば、人間やものごとを文系・理系のように二分しがちです。確かに専門とする対象そのものは文系だったり理系だったりするかもしれませんが、しかし、いずれを対象とするにしても、本気で物事を考えるためには幅広い知識が必要になるということ、この本は教えてくれるのです。

イベント案内



第3回教育展「大学の授業 ～国文学科から国語領域専攻～」

昭和24(1949)年に京都師範学校と京都青年師範学校を包括して、本学の前身である京都学芸大学が設置され、時を同じくして国文学科が発足しました。その後、教員組織としての国文学科は残りますが、学部教育は国語領域専攻、大学院教育は国語教育専修が新たに設置され、現在も続いています。本展では、国文学科歴代教員の功績や手記、卒業生が語る当時の様子、さらには国文学科から生まれた京都教育大学国文学会などの活動などをふりかえり、国文学科のこれまでのあゆみをご紹介します。普段はなかなか目にするのできない、大学の教育や研究のいきいきとした姿をぜひご覧ください。

【会期】2021年11月12日(金)～11月28日(日)

【時間】図書館の開館日時に準じる。ただし、11月23日(火・祝)と11月28日(日)は9時から17時まで展示のみ閲覧可能。

【会場】京都教育大学附属図書館 北館1階 企画展示室

主催/附属図書館 共催/教育資料館 企画/国文学科 協力/京都教育大学国文学会



同窓会写真展

【会期】11月12日(金)～11月15日(月)

【場所】リフレッシュラウンジ

—ご来館の皆様へのお願い—

◇マスクの着用をお願いします。

◇海外から帰国して2週間を経過しない方、発熱や咳など体調の悪い方は 入館をご遠慮ください。

◇開催について、急遽変更となる場合がございますがご了承ください。

◇学外の方のご来館を制限する場合がございます。事前に必ずHPをご確認ください。

投票企画

「学生に観てほしい、映画のすすめ」投票企画を実施します！

先生から募集した「学生に観てほしい映画」を推薦コメントとともに掲示しますので、「面白そう！」「観てみたい！」と思ったものに投票でき、得票の高いものから順に購入して図書館で利用できるようになります。

投票期間は11月8日(月)～11月30日(火)

投票は館内の投票場所か、Googleフォームからどうぞ！

<https://forms.gle/CV8AE4mhBfLXfj5p9>

こんな映画が候補に挙がっています。

『こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話』

『シンドラーのリスト』

『オーシャンズ11～13』 など



リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！

11月の投票期間は11月1日(月)～11月17日(水)

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入しています。



eBook・データベース トライアルキャンペーン



eBook(電子書籍)やデータベースのトライアルキャンペーンを実施します！

たくさんの資料を読むことができる貴重な機会ですので、後期授業の調べ物や論文執筆、教育研究などにぜひご活用ください。

企画1「eBook 試読」10/14～12/13

(1) Maruzen eBook Library (丸善雄松堂)

(2) KinoDen (紀伊國屋書店)

eBookを5分間試し読みできます。パラパラとめくってみて、気になるものにはリクエストも可能！(利用統計や選書方針を元に判断しますので、必ずしも購入できるわけではありません。)

企画2「EBSCOhost 全文データベース+ eBookのトライアル」10/14～2022年1月13日

海外の学術論文データベース EBSCOhostの各コンテンツが利用可能で、全文閲覧可能件数が飛躍的に増加します。また、同じプラットフォームからeBookも利用できます。

※データベースによってトライアル期間が異なりますのでご注意ください。

京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第28回の報告

YouTubeで公開されました。
※現在も視聴できますのでどうぞ！

https://www.youtube.com/watch?v=ysk00Ap8_18

※YouTube公開のみです

【講師】古賀松香（幼児教育科 教授）

【テーマ】1歳児に絵本の読み聞かせってどうやってやるの？

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



学修相談カウンター

理数系の院生が、いろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

オンライン相談をしています！

QRコードからアクセスしてください



→ → →
(京都教育大学附属図書館 Web ページ)

※本サービスの対象者は本学学生のみです。学外の方、教職員は対象外となりますのでご了承ください。

※Webの「利用時の注意事項」をよく読んでご利用ください。



詳細はホームページやポスターで！

気軽に相談
してください♪

図書館講習会のお知らせ

ツアー・講習会を11月中、上限3名程度の予約制で開催しています。

大学院生や学部3・4回生などにおすすめです。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/2021/10/post-18.html>

雑誌の製本作業について

8月から11月下旬（予定）まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2019年～2020年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。

製本後はすべて西館3階（書庫）に並べますので、そちらをご利用ください。

※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載しています。

開架から全集コーナーへの一部移動が完了しました

9月から10月にかけて、西館と南館の2階にある開架図書のうち、個人全集や文学全集などの図書を西館2階奥の全集コーナーへ移動させる作業を行いました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。資料がより充実した全集コーナーへ、ぜひ足を運んでみてください。

児童書コーナー（南館1階）



※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

今月の絵本カード（学生作）

『ロージーのおさんぽ』



作：パット=ハッチンス
訳：わたなべしげお
出版社：偕成社

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【11月の開館日時】

1日（月）、8日（月）、15日（月）、22日（月）、29日（月）
14：00～17：00の予定です。

今月の逸品（10・11月）

『一個（T）』

展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **原田 信一** (産業技術科学科 教授)

「教員養成課程学生における小学校プログラミング教育に関する意識調査」

原田信一・大倉海翔

京都教育大学紀要 2021, No.138, pp. 179-195.

2020年、小学校でプログラミング教育が必修化されました。しかし、プログラミング教育について、「あまりよく分からない」という人も多いではないでしょうか。学校教育を通じて身に付けることとしては、身近な生活や社会の中でプログラミングが活用されているということを理解することと、プログラミング的思考、つまり、物事を順序立てて考え、試行錯誤し、解決する力、といったことを論理的に考えていく力です。このプログラミング教育を進めていくに当たり「教える側のレベルアップ」を図っていくことが重要であるとされています。教師がプログラミングに関してしっかりとした知識を持ち、授業に活かればカリキュラムの「質」が向上します。そして、質の高い教育を受けられれば児童生徒がより深く学ぶことができます。しかし、プログラミング必修化に、学校教育の現場や教員養成課程の学生からは不安の声があるのも事実です。

これらのことから本論文では、都道府県教育センターで実施されているプログラミング教育に関する研修講座数の調査、及び教員養成課程の学生に小学校プログラミング教育に関する意識を調査しました。その結果、プログラミング教育への教育行政の対応状況の差異や教員養成課程の学生がプログラミングの経験やスキルに関して不安を抱いており、プログラミング教育への対応の必要性は感じているものの、具体的な取り組みを行う機会は少ないことなど課題を見いだすことができました。なお、内容の詳細については、論文をご覧くださいと思います。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 138号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUER)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)


2021年11月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

2021年12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

12/4推薦入試
12/24-1/5 冬季休業

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

●携帯版 OPAC (QRコード→) 
<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

京教図書館 News No.254 (2021年11月号)

発行日:2021年11月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp